



「オミクロンと花粉症」似た症状を区別する方法

オミクロン株と花粉症はどう区別する？

花粉症は、現在日本人の4人に1人がかかる国民病であるといわれており、子どものときに無症状でも大人になってからはじめて症状が出る方も少なくありません。

そして、オミクロン株と花粉症の症状は似ているために区別が難しく、咳や鼻水が出たときに花粉症の治療として抗アレルギー薬を飲むべきか、職場に伝えて抗原検査をするべきか迷った結果、不安を抱えて受診する方が増えています。

正しくご自身の症状に対処するために、この2つの疾患をどのように区別したらよいか…

まず、現在大流行しているオミクロン株の主な症状は鼻水、咳、のどの痛み、倦怠感、頭痛、発熱です。このうち咳はコンコンという空咳が主ですが、痰の絡むような咳（湿性咳嗽）もよくみられます。頻度は少ないながら嗅覚障害や味覚障害が起こる方もいます。

これらの症状は花粉症でも十分起こりえます。鼻水や咳、くしゃみは代表的な症状であり、加えて鼻が詰まることで嗅覚障害・味覚障害のような症状があらわれるほか、頭痛や倦怠感、熱っぽさを訴える方も多くいらっしゃいます。

このように両者の症状はとても似ていますが、**花粉症とオミクロン株**を区別できる点は、実はいくつもあります。

まず大きく違うのが**目のかゆみの有無**です。これは、**花粉症ではよくみられる症状**ですが、新型コロナウイルス感染症では報告がほとんどありません。

発熱もオミクロン株では37.5℃以上となり、筋肉痛を伴うこともよくありますが、**花粉症では熱っぽさが単なる倦怠感にとどまることが多く、熱があったとしても37.5℃を超えない軽度**なものです。

防災豆知識

覚えておくと便利なロープワーク

キャンプなど野外活動をされている方はご存知かもしれませんが、ロープワークを覚えておくと、日常生活だけでなく、救急や避難所等でも便利に活用できます。ここで紹介する2種類以外にも多くの結び方がありますので、ぜひ調べておきましょう。

▶巻き結び

柱や棒にロープをつなぐ際に用いるもので、引っ張るほど強く締まり、緩めると簡単にほどけるのが特徴です。



- ①ロープを交差するように2回巻きます
- ②巻きつけたロープの下を通し、引っ張って完成です。

【活用例】

- 柱間にロープを結び、シートを干すことで目隠しにする。
- ペットボトルの口に結んで持ち運ぶ。



▶本結び

同じ太さのロープのつなぎ合わせる際や、三角巾・風呂敷などを結ぶ際に便利です。結び方を間違えると「縦結び」となってしまうので注意が必要です。



- ①2本のロープを交差させます。
- ②上で再度ロープをくぐらせて引っ張ると完成です。

【活用例】

- 三角巾で結ぶ(包帯、手や腕を吊る際)
- 風呂敷を結ぶ

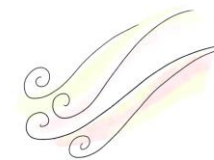
★本結びは、ほとんどの場合同じ側にあるロープの端と元の部分を直線になるように引っ張る。その後、結び目を軽く持ち、引き抜くだけで簡単にほどけます。



季節のお手入れ【3月】

雪や寒さで傷んだ箇所を点検し、暖房器具もしまる前に点検を。

春一番が吹き始めるので、部屋に吹き込まれた土埃は念入りに掃除します。



四文字熟語あれこれ

【自然淘汰(しぜんとうた)】

自然界で、生態的条件や環境などによりよく適合するものは生存を続け、そうでない劣勢のものは自然に滅びていくこと。転じて、長い間には劣悪なものは滅び、優良なものだけが自然に生き残ること。

「淘汰」は選び分ける。悪いものを捨て、よいものを取る。もとダーウィンが進化論の中で説いた語。



新型コロナウイルスにも効果を発揮!

抗ウイルス・抗菌天然木フローリングで日本初

新型コロナウイルス(国立感染症研究所分離株)に対する効果を確認

朝日ウッドテックの挽き板フローリング LiveNatural プレミアムをはじめとする抗ウイルス・抗菌仕様の天然木フローリングについて、フローリングとして日本で初めて、新型コロナウイルス(国立感染症研究所分離株)に対する抗ウイルス効果がある旨の試験結果を得ました。

1995年より抗菌仕様に、さらに近年のウイルス性疾患の流行を受けて2020年10月より抗ウイルス仕様となっております。一般社団法人日本繊維製品品質技術センターに、当該フローリングを使用した抗ウイルス性能評価試験を委託し、ISO21702にもとづいた新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)を用いた、時間経過によるウイルス数の変化を確認する試験を行いました。その結果、抗ウイルス加工なし製品と比較して、24時間後にウイルス数が99%以上減少していることが確認されました。

今後、天然木フローリング以外の床材、階段材、壁材、手摺、造作材などについても、抗ウイルス・抗菌仕様へ切り替え、抗ウイルス・抗菌仕様の建材の更なる普及を推進するとのことです。

<試験結果 概要>

- ① 試験機関 : 一般財団法人日本繊維製品品質技術センター
- ② 試験方法 : ISO21702
- ③ 試験株 : Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2)
- ④ 試験対象 : 当社の抗ウイルス・抗菌仕様フローリング
- ⑤ 試験結果 : 24時間後のウイルス数が、抗ウイルス加工なしと比較して99.75%減少

